

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島 】

1 実践テーマ	【V】
2 実施対象者	福島県視覚支援学校小学部（3名）中学部（5名）高等部（17名） 保護者
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	本校卒業生のパラリンピアン及びパラリンピック候補選手からの講演等を通して、スポーツの意義や価値などへの理解・関心を高め、障がい者を含めた多くの人たちが、生涯を通じて主体的にスポーツに参画することができるようにする。
5 取組内容	1 事前質問の募集（児童生徒対象） 2 自己紹介（パワーポイントを活用し大会映像等を使った紹介） 3 パネルディスカッション（進行：本校保健体育教諭） (1) 視覚支援学校の思い出 (2) 柔道や陸上競技をはじめたきっかけ (3) 柔道や陸上競技から学んだこと (4) 様々な大会に参加して学んだこと (5) 学生時代に身につける力 (6) 社会人として大切にしていること 等 4 質問コーナー 5 実技指導 (1)柔道に関する実技指導 (2)陸上に関する実技指導 6 プレゼント贈呈（本校作業学習製品）

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な先輩の話により、笑顔にあられ興味を湧かし、スポーツを楽しむ心の育成が図られた。</li> <li>・事前に児童生徒からの質問を募集したことで、見通しをもち意欲的に参加できたとともに、アスリートの実体験から勉強の大切さや学校生活の悩みや疑問の解決にもつなげることができた。</li> <li>・実技指導では、陸上競技の基本動作を一緒に実施し、事態に応じた楽しみ方を理解し、スポーツに対する興味関心を湧かすことができた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点 (事業の 特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演者と事前打ち合わせの中でアイデアを出し合い、講演会を、本校保健体育教諭をコーディネーターとしたパネルディスカッション形式にした。</li> <li>・ディスカッションを6つのテーマに分け興味がわきやすくした。</li> <li>・大会の映像を使った自己紹介や身近な先輩の話にした。</li> <li>・事前に児童生徒からの質問を募集した。</li> <li>・実技指導を取り入れ体験的な時間を設けた。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要物品の購入等に制限があり、効果的な指導が難しい。</li> <li>・年間指導計画と異ならないよう、早めに計画を立てる必要がある。</li> </ul>
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討中</li> </ul>